

プリズン ブレイク

エピローグ

以下に記すのは「プリズンブレイク」の結末です。
脱出に成功した場合のみ、読んでください。

外だ!

刑務所から出たあなたは、仲間たちとその喜びを分かち合いました。ですが、ゆっくりはしてられません。巡回中の看守があなたと仲間たちの不在に気づいたら、すぐに捜索が始まるでしょう。その前にできるだけ遠くまで逃げておかねばならないのです。あなたたちは足早に刑務所から離れました。

ヘッドライトを消した1台の貨物自動車があなたの目の前で止まったのはその時です。タイヤをきまして止まった車から降りてきた黒ずくめの男女の手には拳銃が握られていました。「動くな」という彼らの指示に従う以外の選択肢があなたにあるでしょうか？ 観念して両手を上げたあなたたちは、彼らに追い立てられるようにして車に乗り込みます。あなたたちが座ると、すぐに車は走り出しました。どうやら彼らはあなたたちを刑務所に連れ戻すつもりはなさそうですが、どこへ連れて行かれるのかがわからないためにとても不安になります。

車内で黒ずくめの男の一人がタブレットを差し出してきました。その画面には無表情な白い仮面をかぶった人物が映っています。仮面の人物は、年齢も性別もわからない加工された声であなたに語りかけてきました。「ウォルター・キャッスルが残した謎を解いたのはあなたですね？ まったくお見事です。やってもいない罪を仕組んでまでして、あなたを刑務所に収監した甲斐がありました」
仮面の人物のその言葉で、あなたは理解しました。あなたが無実の罪を着せられたことも、ウォルターの謎が残された部屋に入れられたことも、すべてが大きな計画の一部だったのです。
「あなたは合格です。次なる使命に挑むに値する知性の持ち主であることを自ら証明してくれたのですからね。天才数学者ウォルターが残したさらなる謎を解く、という使命に」

こうして、あなたは新たな身分と仕事を手に入れることとなりました。自分を陥れた仮面の人物の指示に従うことには抵抗がありますが、脱獄犯として逃げ続けるよりはましです。それに新たな謎に挑戦できるなんて、ちょっと心が躍りませんか？

